

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【公表番号】特表2013-521761(P2013-521761A)

【公表日】平成25年6月13日 (2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2012-541252(P2012-541252)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 16/18

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 0 7

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月4日 (2014.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下からなる群より選択される、細胞傷害性 T リンパ球 (C T L) 誘導能を有する、 1 5 アミノ酸未滿の単離されたペプチド：

(a) S E Q I D N O : 7、3、4、1 8、および 2 3 からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたペプチド、および

(b) 1 個、2 個、または数個のアミノ酸が置換、欠失、または付加されている、SEQ ID NO: 7、3、4、18、および23 からなる群より選択されるアミノ酸配列を有する改変ペプチドを含む、単離されたペプチド。

【請求項 2】

以下からなる群より選択される、細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) 誘導能を有する、15 アミノ酸未満の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 38、26、27、30、31、32、35、37、および43 からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたペプチド、および

(b) 1 個、2 個、または数個のアミノ酸が置換、欠失、または付加されている、SEQ ID NO: 38、26、27、30、31、32、35、37、および43 からなる群より選択されるアミノ酸配列を有する改変ペプチドを含む、単離されたペプチド。

【請求項 3】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項 1 記載の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 7、3、4、18、または23 のアミノ酸配列の N 末端から 2 番目のアミノ酸が、フェニルアラニン、チロシン、メチオニン、およびトリプトファン からなる群より選択されるアミノ酸で置換されている；ならびに

(b) SEQ ID NO: 7、3、4、18、または23 のアミノ酸配列の C 末端のアミノ酸が、フェニルアラニン、ロイシン、イソロイシン、トリプトファン、およびメチオニン からなる群より選択されるアミノ酸で置換されている。

【請求項 4】

以下の特徴の一方または両方を有する、請求項 2 記載の単離されたペプチド：

(a) SEQ ID NO: 38、26、27、30、31、32、35、37、または43 のアミノ酸配列の N 末端から 2 番目のアミノ酸が、ロイシンおよびメチオニン からなる群より選択されるアミノ酸で置換されている；ならびに

(b) SEQ ID NO: 38、26、27、30、31、32、35、37、または43 のアミノ酸配列の C 末端のアミノ酸が、バリンおよびロイシン からなる群より選択されるアミノ酸で置換されている。

【請求項 5】

ノナペプチドまたはデカペプチドである、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載の単離されたペプチド。

【請求項 6】

SEQ ID NO: 7、3、4、18、23、26、27、30、31、32、35、37、38、および43 からなる群より選択されるアミノ酸配列からなる、請求項 5 記載の単離されたペプチド。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載のペプチドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 8】

CTL を誘導するための組成物であって、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の 1 種もしくは複数種のペプチド、または請求項 7 記載の 1 種もしくは複数種のポリヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 9】

がんの治療および / もしくは予防、ならびに / または術後のその再発の予防のための薬学的組成物であって、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の 1 種もしくは複数種のペプチド、または請求項 7 記載の 1 種もしくは複数種のポリヌクレオチドを含む、薬学的組成物。

【請求項 10】

H LA 抗原が H LA - A 2 4、または H LA - A 2 である対象への投与のために製剤化される、請求項 9 記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

がんの治療のために製剤化される、請求項 9 または 10 記載の薬学的組成物。

【請求項 1 2】

以下からなる群より選択される段階を含む、C T L 誘導能を有する抗原提示細胞 (A P C) を誘導するためのインビトロの方法：

(a) A P C を、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドとインビトロで接触させる段階、および

(b) 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドをコードするポリヌクレオチドを A P C に導入する段階。

【請求項 1 3】

以下からなる群より選択される段階を含む方法によって、C T L を誘導するためのインビトロの方法：

(a) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を表面上に提示する A P C と共培養する段階；

(b) C D 8 陽性 T 細胞を、H L A 抗原と請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を表面上に提示するエキソソームと共培養する段階；および

(c) 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドと結合する T 細胞受容体 (T C R) サブユニットポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む遺伝子を T 細胞に導入する段階。

【請求項 1 4】

H L A 抗原と請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載のペプチドとの複合体を自身の表面上に提示する、単離された A P C 。

【請求項 1 5】

請求項 1 2 記載の方法によって誘導される、請求項 1 4 記載の A P C 。

【請求項 1 6】

請求項 1 ～ 6 記載のペプチドのいずれかを標的とする、単離された C T L 。

【請求項 1 7】

請求項 1 3 記載の方法によって誘導される、請求項 1 6 記載の C T L 。

【請求項 1 8】

がんに対する免疫応答を、それを必要とする対象において誘導するための組成物であって、請求項 1 ～ 6 記載のペプチド、その免疫学的活性断片、または該ペプチドもしくは該断片をコードするポリヌクレオチドを含む組成物。

【請求項 1 9】

請求項 1 ～ 6 記載のペプチドのいずれかに対する抗体またはその免疫学的活性断片。

【請求項 2 0】

請求項 1 ～ 6 記載のペプチドのいずれかをコードするヌクレオチド配列を含むベクター。

【請求項 2 1】

請求項 1 ～ 6 記載のペプチドのいずれか、請求項 7 記載のポリヌクレオチド、または請求項 1 9 記載の抗体を含む、診断キット。

【請求項 2 2】

請求項 1 ～ 6 記載のペプチドのいずれかと H L A 抗原とを含む複合体を提示するエキソソーム。

【請求項 2 3】

請求項 2 0 記載の発現ベクターで形質転換またはトランスフェクトした、宿主細胞。

【請求項 2 4】

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載の 1 つもしくは複数のペプチド、または請求項 7 記載の 1 つもしくは複数のポリヌクレオチドを含む、抗原提示細胞誘導剤。